令和6年度

福岡県南広域水道企業団水道用水供給事業会計予算

議案第8号

令和6年度 福岡県南広域水道企業団水道用水供給事業会計予算

(総則)

第1条 令和6年度福岡県南広域水道企業団水道用水供給事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)用水供給業務

| 供給対象団体 | 一日平均供給水量 | 年間総供給水量 |
|---------|------------------------|--------------------------|
| 久 留 米 市 | 14,818 m ³ | 5,408,570 m ³ |
| 大 川 市 | 9,506 m ³ | 3,469,690 m ³ |
| 筑 後 市 | 7,209 m ³ | 2,631,285 m ³ |
| 柳川市 | 17,942 m ³ | 6,548,830 m ³ |
| 大牟田市 | 13,524 m³ | 4,936,260 m ³ |
| 八 女 市 | 8,443 m ³ | 3,081,695 m³ |
| 朝倉市 | 2,100 m ³ | 766,500 m ³ |
| みやま市 | 3,712 m ³ | 1,354,880 m ³ |
| 大 木 町 | 3,203 m ³ | 1,169,095 m ³ |
| 広 川 町 | 4,335 m ³ | 1,582,275 m³ |
| 筑 前 町 | 3,873 m³ | 1,413,645 m ³ |
| 三井水道企業団 | 13,126 m³ | 4,790,990 m ³ |
| 計 | 101,791 m ³ | 37,153,715 m³ |

(2)主な建設改良工事

- ・ 1,2系着水井及び沈殿池耐震補強工事
- ・ 矢加部配水場移転に伴う電気機械設備工事
- 荒木浄水場門扉改修工事

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

| | 収 | 人 | |
|------------|---|---|--------------|
| 第1款 水道事業収益 | | | 4,979,093 千円 |
| 第1項 営業収益 | | | 4,151,000 千円 |
| 第2項 営業外収益 | | | 828,092 千円 |
| 第3項 特別利益 | | | 1 千円 |
| | | | |
| | 支 | 出 | |
| 第1款 水道事業費用 | | | 4,588,063 千円 |
| 第1項 営業費用 | | | 4,201,133 千円 |
| 第2項 営業外費用 | | | 341,929 千円 |
| 第3項 特別損失 | | | 1 千円 |

(資本的収入及び支出)

第4項 予備費

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,097,617千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額51,559千円、過年度損益勘定留保資金922,065千円及び当年度損益勘定留保資金1,123,993千円をもって補てんするものとする。)。

45,000 千円

| | | 収 | 人 | |
|-------|----------|---|---|------------|
| 第1款 資 | 本的収入 | | | 398,368 千円 |
| 第1項 | 企業債 | | | 214,000 千円 |
| 第2項 | 国庫補助金 | | | 113,765 千円 |
| 第3項 | 出資金 | | | 40,600 千円 |
| 第4項 | 工事負担金 | | | 30,000 千円 |
| 第5項 | 固定資産売却代金 | | | 1 千円 |

第6項投資有価証券売却代金1 千円第7項その他資本的収入1 千円

支出

第1款 資本的支出2,495,985 千円第1項 改良費432,407 千円第2項 企業債償還金915,619 千円第3項 ダム割賦負担金1,114,973 千円第4項 基金積立金32,985 千円第5項 その他資本的支出1 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

| 事項 | 期間 | 限度額 |
|--------------------|-------|------------|
| 遠方監視制御装置改良工事 | 令和7年度 | 182,000 千円 |
| 1,2系着水井及び沈殿池耐震補強工事 | 令和7年度 | 109,000 千円 |
| 濁色度計信号取込工事 | 令和7年度 | 3,000 千円 |

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

| 起債の目的 | 限度額 | 起債の方法 | 利率 | 償還の方法 |
|----------|------------|--------------|------------|-----------------------------------|
| 施設改良事業 | 151,000 千円 | 証書借入 年 5.0%以 | | 借入先の融資条件による。ただし、企業財政の都合により据置期間及び償 |
| 第二期耐震化事業 | 63,000 千円 | 証書恒八 | 十 5.0 % 以內 | 還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換することができる。 |

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1)職員給与費

375,195 千円

(2)交際費

500 千円

(他会計からの出資金・負担金)

第9条 企業団の正常な運営を保つため、他会計からこの会計へ納入を受ける出資金・負担金は、次のとおりとする。

| 目的 | 出資金·負担金 | 備考 |
|-------------|------------|--------------------------|
| 第二期耐震化事業出資金 | 40,600 千円 | 国庫補助事業に係る関係団体の一般会計からの出資金 |
| 地方公営企業繰出金 | 411,408 千円 | 水道水源施設に係る関係団体の一般会計からの繰出金 |
| 計 | 452,008 千円 | |

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

- 第10条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。
 - (1)消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用間の流用

令和6年2月20日提出

福岡県南広域水道企業団 企業長 甲斐田 忠之